

# TOPICS

カナダの衛星打上げ二十周年に  
今後はスペースシャトル搭乗も

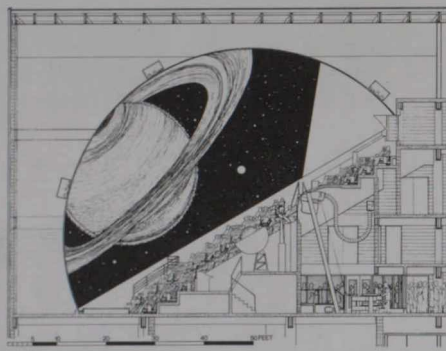
カナダの第一号人工衛星「アル  
エット1」が打ち上げられてから  
昨年で二十周年を迎え、十一月に  
通信研究センター（オタワ）のデ  
ビット・フロリダ研究所で祝賀会  
が開かれた。

カナダは、一九六二年のアルエ  
ット1号以来、電離圏観測衛星I  
SIS、アニクA、ヘルメス、と数  
々の国内用衛星を打ち上げてきた。  
最近では、昨年六月にソ連が打ち  
上げた探査・救助衛星（SARS  
AT）に米国とともに協力した。  
ブリティッシュ・コロンビア州の  
山中に墜落した軽飛行機の乗員三  
人が、この衛星のおかげで救助さ  
れている（既報）。（今年一月には、  
米、加、仏の三国によって開発さ  
れた探査・救助衛星が打ち上げら  
れることになっている。八月十  
六日には、初めてカナダ企業（ス  
パー・エアロスペース）が中心に  
なって建造した通信衛星「アニク  
D1」が打ち上げられ、十一月に  
は「アニクC3」が米国のスペー  
スシャトルから打ち上げられた。  
カナダはまた、欧州宇宙機関が開  
発を進めている宇宙実験室「スベ  
ーラ」計画にも参加している。

米国のスペースシャトルにカナ  
ダ人を搭乗させる計画もあり、目  
下その人選が進められている。  
カナダの人工衛星技術は世界で  
も最先端にあり、通信、救助、資  
源探査その他の分野で今後ますます  
活用されるはずである。

## カナダ製の超大型映画 横浜子供科学館に設置

百八十度魚眼レンズのついた映  
写機で、七十ミリの超大型フィル  
ムをドーム型の超大型スクリーンに  
映し出す——この異例づくめの映  
画館が、来年五月にオープン予定  
の横浜子供科学館にできる。



ドームの内壁全体がスクリーンになったオムニマックス

この映写方式は、トロントの「  
MAX Systems」社が開発したもの

で、日本では、一昨年の神戸ホー  
トピアと北海道博で紹介されたが、  
常設館としては初めて。

IMAX社は、これまでに六階  
建てのビルと同じ高さで、幅がお  
よそ二十五メートルという超ワイ  
ド・スクリーンと八十八個のスピ  
ーカーを使った超大型映写方式I  
MAXを開発しているが（大阪万  
博や東京晴海の宇宙博で公開され  
た）、横浜子供科学館の宇宙劇場  
に設置されるのは半球形の画面に  
映し出すOMNIMAX。映像、  
音響とも、すさまじいほどの臨場  
感と圧倒するような迫力をもつて  
いる。

## オタワで「原爆の絵」展 期間延長して数万人が見学

広島の被爆者が描いた原爆の絵  
が、昨年六月十日から三か月間に  
わたってオタワのカナダ国立美術  
館で展示され、大きな反響を呼ん  
だ。

この展示会は、同美術館が広島  
文化センターから借りて催したも  
ので、当初は二か月の予定だった  
が、市民の関心が高いため、一か  
月延長された。その間に五万人以  
上の人々が会場を訪れ、新聞やテ  
レビも大きく紹介した。

この展示会を企画したブライア  
ン・スミス収集調査副部長は、「延  
長したのは驚異的なこと」だ、  
と述べている。  
展示されたのは、広島文化セン

ターが保管している「市民が描い  
た原爆の絵」の一部。被爆者が自  
らの体験を描いた二千点余りの絵  
から、百一点が紹介された。

## スペースシャトルから打上げ テレビ中継用の衛星アニクC

カナダの通信衛星「アニクC3」  
（写真）が、十一月十一日に発射され  
たNASA（米航空宇宙局）のスペ  
ースシャトルから打ち上げられた。

アニクC（アニクとはエスキモー  
語で「女の人の男兄弟」の意味）がス  
ペースシャトル「コロンビア」から  
引き離されたのは、米中部時間で十  
二日午後二時二十四分。コロンビ  
アの荷物室に積まれて東太平洋方  
ラバゴス諸島の西方三千キロの赤  
道上空に運ばれた衛星が、底部に  
取りつけた固体燃料ロケット（キ  
ック・モーター）とともに回転台  
によって一分あたり五十回の速さ  
で回転されたあと、ロケットの底  
につけられた四つのバネによって  
宇宙に放出された。

衛星は、コロンビアから一秒間に  
約六十センチの速さで離れたあと、  
ロケットのエンジンが自動的に噴  
射し、赤道上空三万六千キロの静  
止軌道に向けて飛んでいった。（軌  
道修正は地上からの電波によって  
なされた。）

スペースシャトルからの衛星打  
ち上げは、前日の米国の通信衛星  
「SSBS3」に続くもので、これ  
によってスペースシャトルの宇宙  
発射台としての性能が確認できた。

新方式による打ち上げ費用は、従  
来のロケット方式のほぼ三分の一  
といわれ、経済性、安定性からも  
成果が高く評価された。

今度打ち上げられた衛星は、カ  
ナダの通信サービス会社テレサッ  
ト・カナダが計画している三個の  
アニクC衛星のひとつで、残りの  
二個は今年四月および来年四月、  
スペースシャトルから発射される



ことになっている。

アニクCは、十四および十二千ガ  
ヘルツという高周波数帯のみを利  
用する円筒形の衛星で、十六の無  
線周波数チャンネルを備えている。  
各チャンネルは二個のカラーテレ  
ビ信号を伝達できるので、一個の  
衛星で三十二のテレビ番組が中継  
できる。現存する通信衛星として  
は、北米で最も強力なもので、放  
送、ビジネス通信、その他の目的  
に使われることになっている。

## 高まるカーリング熱 北海道と東京で

今年もカーリングのシーズンが  
やってきた。

すでに十一月下旬からカーリン  
グを始めた北海道では、三月十九  
日から二十一日まで真駒内屋内競